

モニタリング結果報告書

施設 藤野芸術の家
 指定管理者 (社) 神奈川県青少年協会
 施設所管課 青少年課

(平成 22 年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月10日	5月19日	改善すべき業務等なし
5月	6月11日	6月16日	改善すべき業務等なし
6月	7月12日	7月20日	改善すべき業務等なし
7月	8月10日	8月16日	改善すべき業務等なし
8月	9月10日	9月17日	改善すべき業務等なし
9月	10月12日	10月15日	改善すべき業務等なし

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

< 提案内容の概要 >

当該施設は、旧藤野町の「藤野ふるさと芸術村構想」で、芸術村の拠点施設として施策が展開されてきた経緯もあり、地域との連携は欠かせない要素であることから、地域イベントへの参加や地域芸術家との連携など、協力体制を構築していく。

< 実施状況 >

4月 地域農家との連携によるタケノコ堀り体験と鯉のぼり作り体験 参加者数 74 名
 5月 藤野ぐるっと陶器市のインフォメーション(地域イベントの各会場の写真を施設内でパネル紹介)
 8月 地域住民の協力によるカブトムシ捕り体験とカブトムシの缶バッチづくり 参加者数 11 名
 その他、地域芸術家の小作品販売や地域特産物の紹介を実施。

上記取組み等を通じ、地域芸術家や住民、施設等との連携を図り協力体制を築くことで、地域振興に寄与するとともに、施設のPRに繋がっている。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額	
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入			
年間予算額	166,941	130,411	23,360	13,170	166,941	0
上半期計 (a)	85,605	58,080	17,373 (21,047)	10,151	75,792	9,813
下半期計 (b)	—	—	—	—	—	—
4月	8,850	5,355	2,640 (2,721)	855	3,549	5,301
5月	12,731	8,800	2,359 (2,698)	1,571	15,354	△2,622
6月	19,701	16,520	2,382 (2,347)	798	18,552	1,148
7月	17,500	9,830	5,682 (4,911)	1,988	10,447	7,053
8月	16,687	8,920	3,843 (5,210)	3,924	14,938	1,749
9月	10,133	8,655	466 ※ (3,158)	1,012	12,949	△2,815
合計 (a+b)	85,605	58,080	17,373 ※ (21,047)	10,151	75,792	9,813

※ 宿泊棟の外壁工事に伴い平成22年9月～平成23年3月まで宿泊室の利用を休止

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

〔 下半期における光熱水費の支出増等に備え、維持管理費の支出抑制等をはかったため。 〕

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況		
	該当なし	
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	56,318 人	62,628 人	△10.1%
下半期計 (b)	— 人	— 人	— %
4月	4,907 人	6,190 人	△20.7%
5月	8,870 人	11,665 人	△24.0%
6月	5,694 人	6,059 人	△6.0%
7月	11,703 人	12,826 人	△8.8%
8月	21,201 人	18,077 人	17.3%
9月	3,943 人 (※)	7,811 人	△49.5%
合計(a+b)	56,318 人	62,628 人	△10.1%

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

※ 宿泊棟の外壁工事に伴い、平成22年9月～平成23年3月まで宿泊室の利用を休止しているため、利用者数が減少している。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

(施設所管課受付分)

報告月	口頭		文書			合計	報告月	口頭	文書	合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート					
4月	0	0	0	0	4	4	4月	0	0	0
5月	0	0	0	0	1	1	5月	0	0	0
6月	0	0	0	0	1	1	6月	0	0	0
7月	0	0	0	0	6	6	7月	0	0	0
8月	0	0	0	0	13	13	8月	0	0	0
9月	0	0	0	0	1	1	9月	0	0	0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・特筆すべきものなし	
	・	
職員対応	・特筆すべきものなし	
	・	
事業内容	・特筆すべきものなし	
	・	
その他	・特筆すべきものなし	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	該当なし
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
9月15日	青少年協会： 副館長 他職員2名 青少年課： 職員2名	管理物品の保管状況等、総務・経理関係についてモニタリングを実施	各項目とも特に問題はなく適正に処理されており、良好であった。

9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理、運営に関する業務につき計画通り実施した。 ホール、スタジオ及び工房で実施したゴールデンウィーク企画や夏休み企画では、多数の参加者があり盛況であった。 宿泊棟の外壁工事により9月からレストランが営業を休止しているが、近隣飲食店からの出前や弁当の配達を案内する等、利用者サービスの維持をはかっている。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理業務を着実に推進している。 宿泊棟の外壁工事に伴い、9月から3月まで宿泊利用を休止しているため、下半期に芸術棟で実施する事業の参加者数への影響が懸念されるが、ゴールデンウィークや夏休みに実施したミニコンサートや音楽体験事業、工房の期間限定メニュー等が好評であるため、引続き工夫をこらした事業の実施による利用者増の取り組み及び利用者の立場に立った施設の維持管理、運営を期待する。